



沖縄一朝の早い 元気の始発駅

どんなに夜遅くても、ものすごく早い朝でもどこかの店が開いている「農連市場」。1953年に開設され、売り手と買い手の「相対売り」でゆかいなユンタクもつてくる。

午前5時、市場内の明かりがその輪郭を浮き立たせ、まるで暗闇に横たわるUFOのようだ。吸い寄せられるように足を踏み入れる。いきなり野菜売り場に山積みされたキャベツがすごい。ビニール袋に大きなキャベツが5、6個ぎっしり。買い手が次々現れ、山を小さくしていく。にんじんやゴーヤー、玉ねぎとありとあらゆる野菜の海。

少し歩くと左に鮮魚店、右にタンカン、イチゴ、バナナなどの果物類が並ぶ。次の角を曲がると惣菜屋さんの額入り写真が目にとまる。連続テレビ小説「ちゅらさん」のロケ風景。母親役の

「ちゅらさん」のロケ風景。母親役の

新NAHAおぼと①

那覇市世界遺産登録記念事業

世界遺産登録記念イベント

主催 那覇市教育委員会 場所 バレット市民劇場

日時・内容

●2月22日(金)／記念講演会

時間 18:00／開場 18:30／開演

講師 竹内海南江 (TBS番組「世界ふしぎ発見!」メインレポーター、小説家)

テーマ 世界遺産は人類の宝物～80ヶ国をめぐる～

●2月23日(土)／表彰式、記念シンポジウム

時間 13:00／開場 13:30／開演

①俳句・短歌・琉歌コンテスト、グッズアイデア表彰式 ②作品発表 ③記念シンポジウム
シンポジウムテーマ “かたち”を“こころ”へー世界遺産を詠むーパネリスト

俳句／金子 兜太 短歌／岡井 隆 琉歌／崎間 麗進

コーディネーター 上原直彦

●2月24日(日)／民俗芸能祭 うまんちゅめ遊び

沖縄県内に伝承されている各地の芸能を一堂に集めて上演し、世界遺産登録の喜びを分かち合います。

時間 13:30／開場 16:30／終演



お問い合わせ

那覇市教育委員会 生涯学習部 文化財課
☎853-5776 FAX833-2202
Eメール bunka@naha-okn.ed.jp
ホームページ http://www.naha-okn.ed.jp/
bunkazai/
那覇市世界遺産登録記念事業事務局(琉球新報社内)
☎865-5200 FAX868-6065
Eメール jigyou@ryukyushimpo.co.jp

なはさくらまつり2002

期間 2月13日(水)～2月17日(日)

場所 那覇市与儀公園

イベント内容

- オープニングセレモニー
- ミス那覇による苗木プレゼント
- 園芸相談、園芸講習会
- 民謡ショー
- 花木等展示即売

■お問い合わせ／全沖縄花木生産組合
☎885-9380



二千名が新年への思い語る 那覇市新年祝賀名刺交換会



毎年恒例となっている、那覇市の新年祝賀名刺交換会が、かりゆしアーバンリゾート那覇で行われ、鏡開きや乾杯で景気をつけ、参加者約二千名が新年への思いを語り合いました。安仁屋真昭さんの「王府おもろ」詠唱で幕が開き、玉城流翔節会の琉球舞踊につづいて参加者全員が那覇市歌を斉唱。翁長市長は「風評被害による観光業関連への協力を引き続き行い、また、市民のための市役所であることを第一に行政サービスの充実に努めたい」と年頭のあいさつを行いました。

ニユース・ダイジェストNaha

青空高くカラフル放水

那覇市消防出初式で防災祈願

災害のない一年を願う、那覇市消防出初式が天久新都心防災公園で行われ、特別点検や救助訓練などが行われました。式には翁長市長をはじめ消防職員、消防団員、婦人防火クラブなどが参加、市長は「市民の生命、財産を守るため、対策強化に努めてください」と責務の重要性を訓示しました。公園を訪れた多くの家族連れが見守るなか、カンカラー三線の演奏などに続いて、防災祈願の一斉放水が行われ、ピンクや黄色のカラフルなシュプールが青空に描かれました。



利休の色 侘び茶の焼き物



千利休をはじめ侘び茶人たちが愛した焼き物とは、そして、茶人たちが出会った自分好みの色とは。その歴史を垣間見ようと、1月11日、壺屋焼物博物館で「侘び茶の焼き物・利休の色」の講座が開催されました。講座の前半は、書院茶で使われた天目や青磁、利休や侘び茶の世界で好まれた高麗茶碗や瀬戸茶碗の説明。後半は、それらの茶器の色がどのような陶芸の技法で作られたのか、実物を示しながら解説が行われました。利休が好んだ焼き物の色は茶の湯の雰囲気や大事にするものだったのです。

備品整備や植樹活動を推進

「コミュニケーション」助成事業を活用

地域のコミュニケーション活動の推進と宝くじの普及広報活動をもくとしたコミュニケーション助成事業として、(財)自治総合センターから市へ助成金が交付されることになりました。市では一般コミュニケーション助成事業の240万円は自治会のパソコンや子どもエイサーに使うパーランクーなどの備品整備に、また、緑化推進コミュニケーション事業の150万円は「国場川に清流を取り戻す会」の植栽事業(同上流域にサガリバナ51本、イペー10本、トックリキワタ3本を植樹)に活用します。



ニユース・ダイジェストNaha